

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 令和 3年 12月 21日

事業所名: 放課後等デイサービスリあんず

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの 十分な確保	・施設基準を遵守したスペースを確保して いる。 ・勉強場所と遊びスペースを同一部屋内で 区別している。 ・公園などへの外出を行っている。	19	3	0	0	・今後も引き続き安全なスペースの確保や工 夫を行っていく。
	2 職員の適切な配置	・施設基準に基づく資格者の人員配置と加 配人員の配置を行っている。	22	0	0	0	・今後も適切な配置を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、 情報伝達等に配慮した環境など障害の特性 に応じた設備整備	・民家を改築しているため、玄関に段差が ある。 ・場所が分かるように掲示物 で示している。 ・落ち着ける空 間となるよう装飾は必要に応じて行う。	17	3	0	2	バリアフリー化に向け調整中。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に 合わせた生活空間の確保	・毎日の清掃や消毒を実施している ・利用者に合わせて必要な環境設定を行っ ている	21	0	0	1	・今後も継続して清掃や消毒を行い、利用者が 安全かつ快適に活動できるように努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)への職員の積極的な参 画	・職員のスキルアップと支援向上のため、 毎日ミーティングを行っている	/				・今後もミーティングを継続して実施し、業務改 善に努める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善 の実施	・現在は第三者による外部評価を実施して いない	/				・検討中であり、今後第三者評価を取り入れた い。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の 確保	・事業所内での研修や外部研修を行ってい る	/				・障害者虐待対応向上研修 ・発達凸凹について学ぶ・事例検討会 ・BCP策定研修 ・センター的機能研修会 など外部研修受講を行っ ている

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成					・今後もアセスメントを行い、利用者および保護者のニーズをしっかりと反映させた個別支援計画を作成する。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	22	0	0	0	・今後も個別活動と集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成する。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載					・今後も継続して実施する。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	22	0	0	0	・今後も継続して実施する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案					・今後もミーティングなどの話し合いの中で、安全かつ有用な活動プログラムを立案していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	20	0	0	2	・休日や長期休暇の時は、平日に比べ日常生活行為を行う場面が増えるため、よりきめ細やかな支援ができるように心掛ける。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施					・休日や長期休暇の時は外出機会を多く設け、活動プログラムが固定化しないように努める。 ・外出場所が固定化しないように場所を検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供 (続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	/				・今後もミーティングを行うことで支援内容や役割分担についての確認を行う。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化					・今後も継続して実施し、情報の共有化を図る。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施					・日々の個別記録の正確な記録を徹底し、その都度支援の検証や改善を行っている。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し					・半年に1回児発管と相談支援専門員とがモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	/				担当者会議などの前に事業所内ミーティングを行っている。その後、児発管が会議に出席している。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/				・今後対象となる利用者がある時は、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を実施する。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/				・今後対象となる利用者がある時は、利用者の主治医や協力医療機関等との連絡体制を整備する。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	/				現在、児童発達支援からの引継ぎ児童はいない
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	/				卒業を見越したサービスの情報・提供を行い、円滑なサービス利用に繋げた。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	/				・今後も継続して受講できるよう調整していく。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	4	2	1	15	児童館は現在利用できていないが、地域のイベントに参加するようにしている。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	/				・今後は事業所単位での行事の開催を検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・見学時や契約時に丁寧に説明するように心掛けている	22	0	0	0	・今後も引き続き実施していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・3か月に一度、ご家族に計画を示しながら支援内容の説明を行っている	22	0	0	0	・今後も支援内容が分かるような丁寧な説明ができるように努める。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・現在は実施していない	11	0	0	11	・家族会を計画していたがコロナの影響もあり延期している。 ・月一回のお便りの中で情報発信していきたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・連絡ノート、送迎時や電話での対応等で共通理解に徹している	22	0	0	0	・今後も引き続き実施し、保護者との共通理解の徹底に努める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・相談ごとなどは、事業所で面談を行ったり、随時電話や送迎時にも対応する	21	1	0	0	・今後も引き続き実施し、保護者の悩み等が少しでも解消できるように努める。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・現在は実施していない。 ・保護者会が存在し。	5	0	6	11	令和3年度より保護者会を計画していたが、コロナ感染症のため延期している。令和4年度で再度計画予定。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情に対する対応を速やかに検討し実施している。	16	1	0	5	苦情の受付システムを契約時に説明しているが、りあんずたよりなどで再度、周知予定。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・写真や絵カードを用いるなど、分かりやすい対応に努めている。 ・保護者への情報伝達のため、個別に文章を作成して配布している。	21	0	0	1	・今後も引き続き実施し、意思の疎通や情報伝達のための配慮に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
保護者への説明責任・連携支援	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・連絡ノートや参加予定表を通してお知らせしている。・月一のお便りを(りあんずだより)発行している。	20	0	0	2	・お便りに様々な情報発信していけるよう努める。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・契約時に保護者に説明し、同意書にサインを頂いている ・職員には個人情報に対する取扱いについて十分な説明を行い、守秘義務を徹底している	20	0	0	2	・今後も引き続き実施し、個人情報の取扱いに対する十分な対応を徹底していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各マニュアルを策定している ・契約時に非常災害時の対策について説明している ・周知徹底までには及ばない	16	2	1	3	希望者に各マニュアルを配布・周知予定。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・隣接する病院、施設と合同で実施している	7	0	0	15	令和4年度より、事業所単独の避難訓練を計画
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・研修に参加している。	/				虐待防止委員会を新規設置し、1回/月開催している。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束をせずに済む方法を検討している。	/				・今後対象となる利用者がある時は、組織的な決定、子どもや保護者への十分な説明と同意、計画書への記載を徹底する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・医師の指示書はないが、保護者からの情報で別途対応している。	/				・食物アレルギーなど必要な情報はスタッフ全員で情報共有し対応していく
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成・検討を行っている	/				・事故報告だけでなく、ヒヤリハット事例も書面で報告し職員間で改善策の検討を共有することで、事故防止を徹底する。